

すが、以下に主なものを紹介します。①まず学生へのキャリア教育です。育児と仕事を両立している先輩医師や、イクメン、イクボス医師の体験談を聞くこと、そしてグループワークで将来向き合わなくてはならない問題の解決策を話し合うことを通じて、どのように人生設計を立てたらよいか自ら考えてもらう機会を提供しています。②また、医学部学生がボランティアで大学職員の子供達と夏休み・冬休みにさまざまな活動をしてもらうキッズスクールの活動を通じて大学として職員の子育てを応援している姿勢を感じ取ってもらいます。③今年度から設けたベストサポーター賞では、子育てや介護を支えてくれる職場の同僚を表彰し、働きやすい職場環境の浸透を図っています。

このような取り組みによって、看護師の退職率が低下し、女性医師の職位では平成18年には一人もいなかった講師が平成27年には5名に増えました。平

成25年度には北海道から男女平等参画チャレンジ賞を団体受賞しました。

子は国の宝、地域の宝であり、大学・病院の宝でもあるということを知り、子どものいない職員にもわかってもらうことで地域における医師不足と少子化の両方を解決すべくこれからも活動してまいります。



## お知らせ

### 「応急手当WEB」「救急医療啓発パンフレット」へのリンク依頼について

◇救急医療部◇

当会ホームページでは急病・急な症状時の対応を紹介する「応急手当WEB」、救急医療機関の適切な利用について理解を深めてもらう「救急医療啓発パンフレット」を掲載しております。

これらの情報をより一層周知することにご協力いただけます医療機関におかれましては、自院ホームページに下記掲載URLへのリンクをお願いいたします。

なお、リンク掲載後のご連絡は不要ですが、今後の連携強化のため、リンクのご一報をいただければ幸いです。

#### ●応急手当WEB

<http://www.hokkaido.med.or.jp/firstaid/>

#### ●救急医療啓発パンフレット

<http://www.hokkaido.med.or.jp/hokkaido/ambulance.html>

連絡先：北海道医師会事業第二課

TEL 011-231-1725 FAX 011-210-4514 E-mail 2ka@m.doui.jp